

日南病院における個人情報流出について

1 事案発生

日南町国民健康保険日南病院

2 漏えいした情報

健診受診者の氏名、年齢、血液検査結果(要配慮個人情報)

3 漏えいした日

令和6年6月11日(火)

4 発覚の経緯

日南病院の事務会計職員は、クリップに挟んであった健診受診者の検査結果表が外来患者の検査結果表に混入していたことに気づかず誤交付した。

日南病院に検査結果表を受け取った外来患者から「他人の検査結果票が混入されている」という問い合わせがあり、誤って渡していたことが判明した。

5 原因等

- ①検査結果表は2枚以上プリントがあってもまとめてクリップで挟むことにはなっていなかった。
- ②検査結果表を患者に渡す役割も曖昧であった。
- ③今回は最後の会計事務までファイルの中に検査結果表が残っており、すべてのチェックが行われないまま1枚目の氏名を見て判断し患者に交付した。
- ④ファイルには本来入っているもの以外の書類(私物)が入っており、確認がおろそかになっていた。

6 対応状況

日南病院は、誤って検査結果表をお渡しした方の自宅を訪問して直接謝罪をするとともに、当該検査結果表を回収した。

また、もう一人の方に対しても速やかに連絡をとって自宅を訪問し、経緯を説明するとともに直接謝罪した。なお、それぞれの方には、今後の再発防止対策を後日報告することとした。

※ 血液検査結果表は発見者以外に供覧していないことを確認しており、不特定多数への情報流出はない。

7 再発防止策

日南病院は、直ちに職員に向けた個人情報の取扱いに関する研修(6月19日実施)と再発防止対策検討会の実施を決め、以下の事を院内職員に指示した。

- ①職員に個人情報の重要性を再認識させること。(6月19日職員全体研修会の実施)
- ②検査結果表は1枚のみ出力とし、他とクリップ止めしないこと。(6月20日より実施)
- ③検査結果表を用いて医師が説明し、診察室で本人に渡すこと。(6月20日より実施)
- ④確認項目や確認方法(ダブルチェック等、作業環境、事務処理手順の見直しを実施すること。(6月20日より実施)
- ⑤再発防止に向けてペーパーレス化を進めて行くこと。(電子カルテの仕様変更時の検討)
- ⑥ファイルには決められた書類以外は入れないこと。(6月20日より実施)

令和6年6月20日

日南町国民健康保険日南病院
事業管理者 福家寿樹